

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年 11月 10日

株式会社 **クレハ**

I. 2021年3月期 第2四半期業績	(頁)		(頁)
・ 第2四半期業績のポイント	(3)	III. 連結対象会社の概要	(29) ~ (30)
・ 概要	(4) ~ (6)		
・ セグメント別実績	(7) ~ (11)	IV. 添付資料	
・ キャッシュフロー	(12)	・ PGA事業について	(32) ~ (33)
・ 財政状態計算書	(13)	・ PVDF事業について	(34)
		・ 環境事業について	(35)
II. 2021年3月期 業績予想		・ 株主還元に関する考え方	(36)
・ 通期業績予想のポイント	(15)		
・ 概要	(16) ~ (18)		
・ セグメント別予想	(19) ~ (23)		
・ キャッシュフロー予想	(24)		
・ 主要指標予想	(25) ~ (27)		

Ⅰ. 2021年3月期 第2四半期業績

□ 2021年3月期 第2四半期決算 営業利益62億円（前年同期比△41億円）

- 新型コロナウイルス感染症による生産・販売への影響は軽微
- 自動車およびシェールオイル・ガスを主要市場とする**機能製品事業は苦戦**
- 営業利益減少（前年同期比）の主要因
 - ・PGA事業の利益減（△29）
売上減少による利益減（△15）、PGA樹脂生産時期の変化※（△14）
※2020年度上期での樹脂生産はなく、上期の米国工場の経費全てを売上原価に計上。
△14は下期の樹脂生産により棚卸資産に計上される。
 - ・他の事業の売上減少（コロナ禍、ボトル事業譲渡、薬価改定等）に伴う利益減（△19）
 - ・前年同期に計上した新規連結に伴う割安購入益（△15）
 - ・原燃料の価格低下(+9)
 - ・販管費の減少(+13)

□ 配当金と資金の状況

中間配当 85円／株（前年度と同額）

期末配当 85円／株（前年度と同額）

投資有価証券の売却収入もあり第2四半期末の現預金は176億円（前期末比103億円増）

コロナ禍の影響による急激な資金需要に備えつつ、今後の設備投資に活用。

2021年3月期 第2四半期決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減額 (率)
売上収益	696	660	-35 (-5.1%)
セグメント別 営業利益計	89	63	-26 (-29.3%)
調整	-1	-0	1
その他の収益	16	2	-14
その他の費用	2	3	1
営業利益	102	62	-41 (-39.6%)
金融収益	3	3	0
金融費用	4	1	-3
税引前 四半期利益	101	64	-38 (-37.0%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	84	48	-35 (-42.4%)
基本的1株当たり四半期利益 (円/株)	417.23	246.64	

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

建設関連、環境事業が増収となったものの、機能製品、化学製品、樹脂製品の業務用包材が減収となり、あわせて減収。

〔営業利益〕

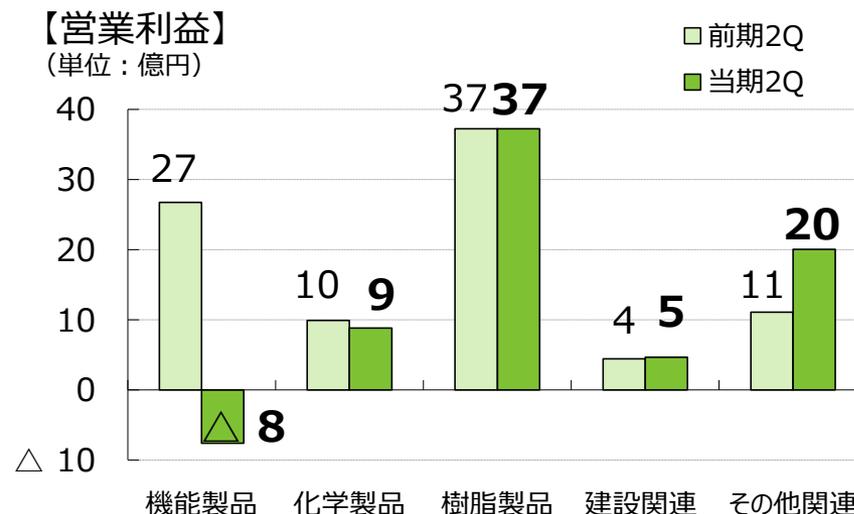
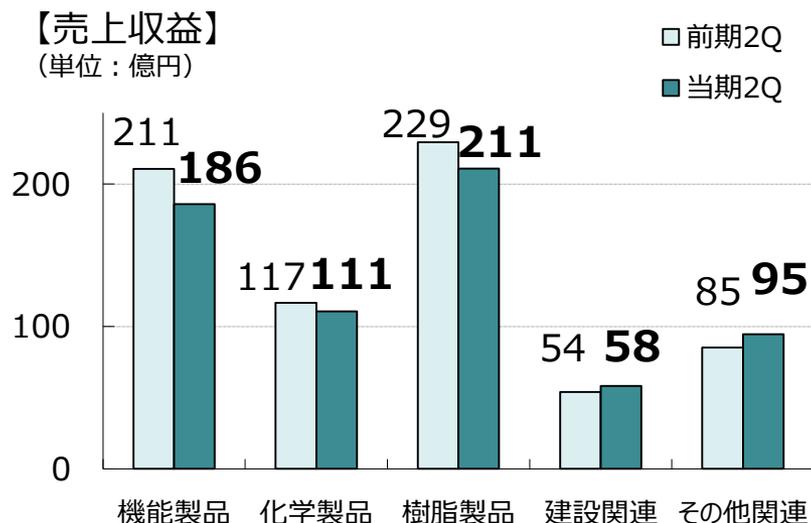
環境事業が増益となるも、PGA樹脂加工品の売上減少や米国PGA樹脂製造会社で生産が無かった影響などに加えて、前年同期に新規連結による割安購入益を計上したこともあり、合わせて減益。

〔親会社当期利益〕

営業利益、税引前利益の減少に伴い、減益。

KUREHA

<セグメント別 第2四半期 前年比較>



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 PVDF樹脂は増益となるも、PPS樹脂、PGA樹脂加工品、炭素製品が減益となり、あわせて減益。
- 〔化学製品〕 医薬・農薬は増益となるも、工業薬品が減益となり、あわせて減益。
- 〔樹脂製品〕 業務用包装材が減益となるも、釣糸が増益となり、利益は前年同期並み。
- 〔建設関連〕 公共土木工事の増加により増収となるも、利益は前年同期並み。
- 〔その他関連〕 産業廃棄物処理および処分が増加し、増益。

2021年3月期 第2四半期決算の概要 (3)

株式会社クレハ

2020年3月期 第2四半期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	211	117	229	54	85	696
セグメント別営業利益	27	10	37	4	11	89
調整						-1
その他の収益(+)						16
その他の費用(-)						2
営業利益						102
金融収益(+)						3
金融費用(-)						4
税引前四半期利益						101
親会社四半期利益						84

(単位：億円)

… 新規連結に伴う割安購入益 15億円

2021年3月期 第2四半期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	186	111	211	58	95	660
セグメント別営業利益	-8	9	37	5	20	63
調整						-0
その他の収益(+)						2
その他の費用(-)						3
営業利益						62
金融収益(+)						3
金融費用(-)						1
税引前四半期利益						64
親会社四半期利益						48

(単位：億円)

KUREHA

(単位：億円)

	2020年 3月期 2Q	2021年 3月期 2Q	増減 (率)
機能樹脂	137	116	-21 (-15%)
炭素製品	31	26	-5 (-17%)
その他	43	45	2 (4%)
売上収益	211	186	-25 (-12%)
営業利益	27	-8	-34 -

<前年同期比> 減収・減益

機能樹脂

PPS 自動車部品用途の売上減少と、持分法利益の減少により減益。

PVDF 素材用途は減収となるも、リチウムイオン二次電池用バインダー向けPVDFが増収となり、増益。

PGA 油価下落と、シェールオイル・ガスの採掘減少により、素形材、自社製プラグとも減収。
上期に樹脂生産がなく、米国工場の経費全てが売上原価に計上され、大幅減益。

炭素製品

自動車部品用摺動材および高温炉用断熱材向け炭素繊維が減収となり、減益。

その他

グループ会社の接着剤等が増収となるも、利益は前年同期並み。

(単位：億円)

	2020年 3月期 2Q	2021年 3月期 2Q	増減 (率)
農薬	23	31	8 (33%)
医薬品	24	22	-3 (-10%)
工業薬品	36	28	-8 (-23%)
その他	33	30	-3 (-9%)
売上収益	117	111	-6 (-5%)
営業利益	10	9	-1 (-11%)

<前年同期比> 減収・減益

農薬

農業・園芸用殺菌剤の売上が増加し、増収・増益。

医薬品

薬価改定があり売上は減少となるも、経費の減少により増益。

工業薬品

コロナ禍による市況悪化により、無機および有機薬品の売上が減少し、減収・減益。

(単位：億円)

	2020年 3月期 2Q	2021年 3月期 2Q	増減 (率)
家庭用品	113	112	-1 (-1%)
釣糸	16	20	4 (26%)
業務用包材	73	56	-17 (-23%)
その他	28	23	-4 (-16%)
売上収益	229	211	-18 (-8%)
営業利益	37	37	-0 (-0%)

<前年同期比> 減収・利益は前年同期並み

家庭用品・釣糸

家庭用品の売上は前年同期並みながら、レジャー用釣糸「シーガー」の売上が増加し、増収・増益。

業務用包材

コロナ禍による外出自粛の影響で、欧州・豪州の食肉向け熱収縮多層フィルムの売上が減少したことに加え、前年度にブローボトルを事業譲渡したことにより、減収・減益。

(単位：億円)

	2020年 3月期 2Q	2021年 3月期 2Q	増減 (率)
建設関連事業	96	93	-3 (-3%)
連結売上消去	-42	-35	7 -
売上収益	54	58	4 (8%)
営業利益	4	5	0 (5%)

<前年同期比> 増収・利益は前年同期並み

公共土木工事の増加による増収。

	2020年 3月期 2Q	2021年 3月期 2Q	増減 (率)
環境事業	58	68	10 (18%)
運送事業	41	37	-3 (-8%)
病院事業	20	19	-1 (-5%)
その他	11	12	1 (10%)
連結売上消去	-44	-42	2 -
売上収益	85	95	10 (11%)
営業利益	11	20	9 (81%)

<前年同期比> 増収・増益

環境事業は、産業廃棄物処理および処分の増加、特に低濃度PCB廃棄物処理が増加し、増収・増益。

運送事業は売上・利益ともに前年同期並み。

病院事業は減収・減益。

(単位:億円)

	2020年 3月期 2Q	2021年 3月期 2Q	増減
税引前四半期利益	101	64	-38
減価償却費および償却費	60	58	-3
その他	-96	-8	87
営業キャッシュフロー	66	113	47
投資キャッシュフロー	-25	35	59
財務キャッシュフロー	-26	-45	-18
現金及び現金同等物に係る換算差額	-1	0	1
現金及び現金同等物の増減額	14	103	89
現金及び現金同等物の期首残高	60	73	13
現金及び現金同等物の期末残高	74	176	102

※投資有価証券の売却収入

2021年3月期2Q 92

2020年3月期2Q 46

1. 資産の部

	2020年 3月末	2020年 9月末	増減
現金・現金同等物	73	176	103
営業・その他債権	283	252	-31
棚卸資産	382	367	-15
その他流動資産	52	34	-18
流動資産計	790	829	39
有形固定資産	1,198	1,192	-6
無形固定資産	8	15	7
投資等	473	451	-21
非流動資産計	1,679	1,659	-20
資産合計	2,469	2,488	19

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2020年 3月末	2020年 9月末	増減
営業・その他債務	194	178	-16
有利子負債	373	349	-24
引当金	78	74	-4
その他負債	157	156	-1
負債計	803	758	-45
資本金	182	182	-
資本剰余金	150	150	-
自己株式	-87	-87	-0
利益剰余金	1,359	1,460	101
その他の資本	46	9	-37
非支配株主持分	16	16	-0
資本計	1,666	1,730	63
負債・資本合計	2,469	2,488	19

II. 2021年3月期 業績予想

□ 2021年3月期 業績予想 営業利益145億円（前年同期比△35億円）

- ・セグメントごとの差はあるものの、第3四半期以降、段階的に業績は回復

2021年3月期 セグメント別営業利益推移 (億円)

	1Q 実績	2Q 実績	1~2Q 実績	3~4Q 予想	通期予想	前年度比
機能製品 (うちPGA事業)	-2.8 (-12)	-4.8 (-14)	-7.6 (-26)	34 (4)	26 (-22)	△ 11 (△ 22)
化学製品	2.0	6.8	8.8	13	22	1
樹脂製品	17.8	19.4	37.2	23	60	△ 3
建設関連	2.1	2.6	4.6	2	7	△ 4
その他関連	6.2	13.8	20.0	15	35	8
セグメント営業利益	25.2	37.9	63.1	87	150	△ 10

- ・PGA事業を除く**機能製品事業**の営業利益は前年同期比+11億円
- ・**その他関連事業**は、低濃度PCB廃棄物の処理が伸長し**環境事業が拡大**
- ・セグメント別営業利益予想は150億円（前年同期比10億円減）となるが、前年度に計上した固定資産売却益や構造改革費用等がなくその他の収支は25億円減となり、営業利益は145億円（前年同期比35億円減）を予想

□ 主要な設備投資の進捗及び今後の計画

PPS : いわき事業所 5,000ト増強、2021年2月より商業生産開始

PVDF : いわき事業所 モノマー工程増強、2022年4月より商業生産開始

2021年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2020/3 実績	2021/3 予想	増減額 (率)
売上収益	1,424	1,380	-44 (-3.1%)
セグメント別 営業利益計	160	150	-10 (-6.3%)
調整	0	0	-0
その他の収益	134	5	-129
その他の費用	114	10	-104
営業利益	180	145	-35 (-19.6%)
金融収益	5	5	-0
金融費用	6	5	-1
税引前利益	179	145	-34 (-19.2%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	137	115	-22 (-16.2%)
基本的1株当たり当期利益 (円/株)	692.61	589.19	

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

リチウムイオン二次電池用バインダー向けPVDFや環境事業などが増収となるも、シェールオイル・ガス掘削市場の停滞によるPGA、ボトル事業売却の影響があった樹脂製品、工業薬品の市況悪化による化学製品などの減収があり、あわせて減収。

〔営業利益〕

機能製品を中心としたセグメント別営業利益の減益と、その他の収益・その他の費用の収支差が逆転したことから、減益。

〔税引前利益〕

営業利益の減少により、減益。

〔親会社当期利益〕

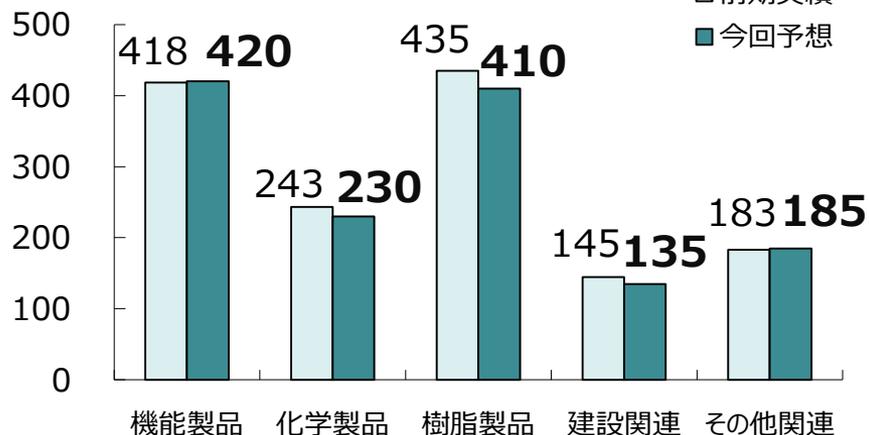
税引前利益の減少により、減益。

KUREHA

<セグメント別 前年比較>

【売上収益】

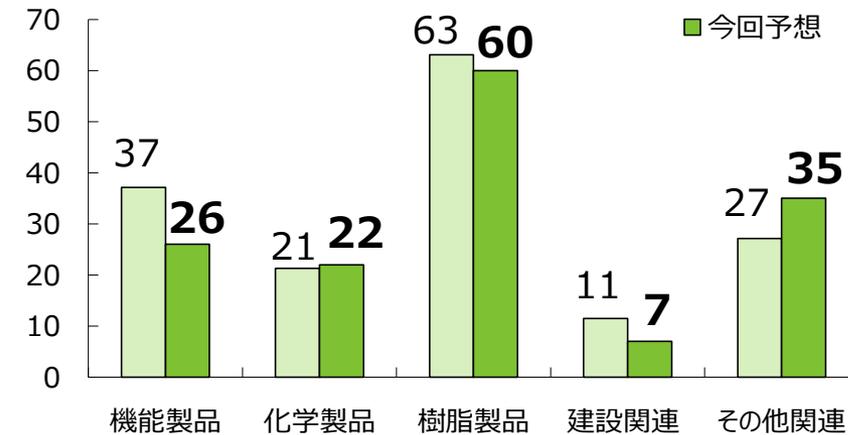
(単位：億円)



合計：前期 **1,424**億円 当期 **1,380**億円

【セグメント別営業利益】

(単位：億円)



セグメント合計：前期 **160**億円 当期 **150**億円

<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 車載用リチウムイオン二次電池向けが好調なPVDFが増益となるも、PGAが赤字となり、あわせて減益。
- 〔化学製品〕 昨年度に在庫調整となった農薬の需要が回復し、増益。
- 〔樹脂製品〕 レジャー用釣糸の販売が拡大するも、業務用包材の販売減少により、あわせて減益。
- 〔建設関連〕 工事物件の構成の変化、競争の激化により、減益。
- 〔その他関連〕 産業廃棄物処理が増加し、増益。

2021年3月期 業績予想 概要 (3)

株式会社クレハ

2020年3月期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	418	243	435	145	183	1,424
セグメント別営業利益	37	21	63	11	27	160
調整						0
その他の収益(+)					※1	134
その他の費用(-)					※2	114
営業利益						180
金融収益(+)						5
金融費用(-)						6
税引前利益						179
親会社利益						137

(単位：億円)

※1 固定資産売却益 102億円
 割安購入益 15億円
 事業譲渡益 12億円 他

※2 事業構造改革費用 106億円 他

2021年3月期 予想

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	420	230	410	135	185	1,380
セグメント別営業利益	26	22	60	7	35	150
調整						0
その他の収益(+)						5
その他の費用(-)						10
営業利益						145
金融収益(+)						5
金融費用(-)						5
税引前利益						145
親会社利益						115

(単位：億円)

KUREHA

	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減 (率)
機能樹脂	274	262	-12 (-4%)
炭素製品	56	48	-8 (-14%)
その他	89	110	21 (24%)
売上収益	418	420	2 (0%)
営業利益	37	26	-11 (-30%)

<前期比> 増収・減益

機能樹脂

各国の環境規制、経済政策を背景にEV市場が伸長し、車載用リチウムイオン二次電池向けPVDFが拡大するも、油価下落とシェールオイル・ガスの採掘減少によるPGA樹脂加工品の減収、自動車需要低迷によるPPSの減収により、あわせて減収・減益。

炭素製品

自動車部品用摺動材向け炭素繊維などが減収となり、減収・減益。

その他

5G関連市場の立ち上がりにより、グループ会社の接着剤事業が増収となり、増益。

	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減 (率)
農薬	58	72	14 (25%)
医薬品	49	41	-8 (-16%)
工業薬品	69	58	-11 (-16%)
その他	67	59	-8 (-12%)
売上収益	243	230	-13 (-5%)
営業利益	21	22	1 (3%)

<前期比> 減収・増益

農薬

農業・園芸用殺菌剤は、原体納入先の在庫調整が一巡し、増収・増益。

医薬品

薬価改定と流通在庫調整の影響があり、減収・減益。

工業薬品

無機および有機薬品の市況悪化により、減収・減益。

	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減 (率)
家庭用品	213	214	1 (1%)
釣糸	30	37	7 (23%)
業務用包材	141	112	-29 (-21%)
その他	51	47	-4 (-8%)
売上収益	435	410	-25 (-6%)
営業利益	63	60	-3 (-5%)

<前期比> 減収・減益

家庭用品・釣糸

家庭用品（NEWクレラップ・キッチンさんシリーズ）の売上は前年並みとなるも、コロナ禍においても感染リスクの低いフィッシング市場が拡大したことにより釣糸「シーガー」が増加し、あわせて増収・増益。

業務用包材

コロナ禍による外出自粛の影響で、欧州・豪州の食肉向け熱収縮多層フィルムの売上が減少したことに加え、前年度にブローボトルを事業譲渡したことにより、減収・減益。

	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減 (率)
建設関連事業	224	205	-19 (-8%)
連結売上消去	-79	-70	9 -
売上収益	145	135	-10 (-7%)
営業利益	11	7	-4 (-39%)

<前期比> 減収・減益

建設事業は、工事物件の構成変化と、競争激化により、減収・減益。

	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減 (率)
環境事業	128	135	7 (6%)
運送事業	82	75	-7 (-8%)
病院事業	40	40	-0 (-0%)
その他	22	25	3 (15%)
連結売上消去	-89	-90	-1 -
売上収益	183	185	2 (1%)
営業利益	27	35	8 (29%)

<前期比> 増収・増益

環境事業は、産業廃棄物処理および処分の増加、特に低濃度PCB廃棄物処理が増加し、増収・増益。

運送事業は、運送需要の減少により、減収・減益。

病院事業は、来院患者数の減少等により、減収・減益。

	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減
税引前当期利益	179	145	△34
減価償却費および償却費	121	116	△5
その他	△149	△57	91
営業キャッシュフロー	152	204	52
投資キャッシュフロー	55	△82	△136
財務キャッシュフロー	△194	△90	104
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	13	32	20
現金及び現金同等物の期首残高	60	73	13
現金及び現金同等物の期末残高	73	105	32

※2020年3月期
固定資産の売却による収入
108億円

主要指標予想 (1)

設備投資



減価償却費

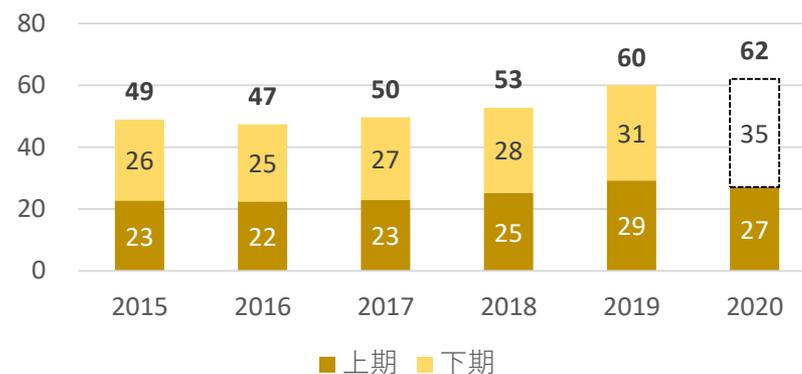
(単位：億円)



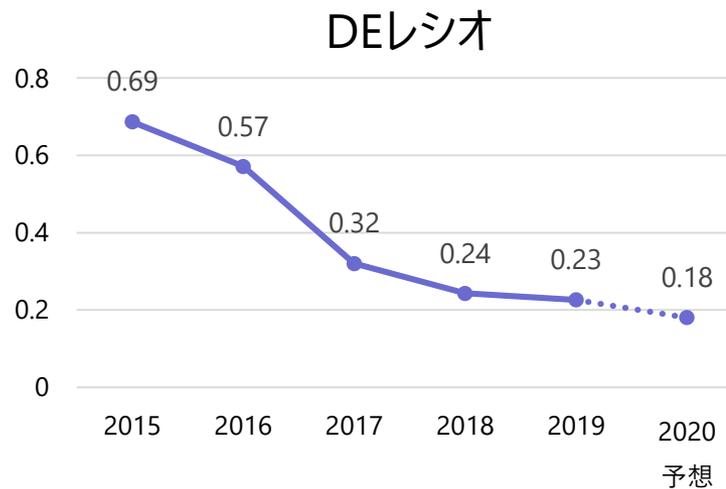
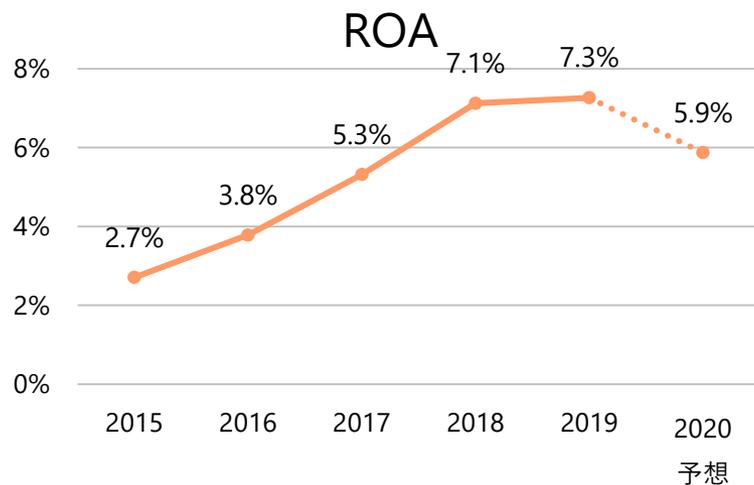
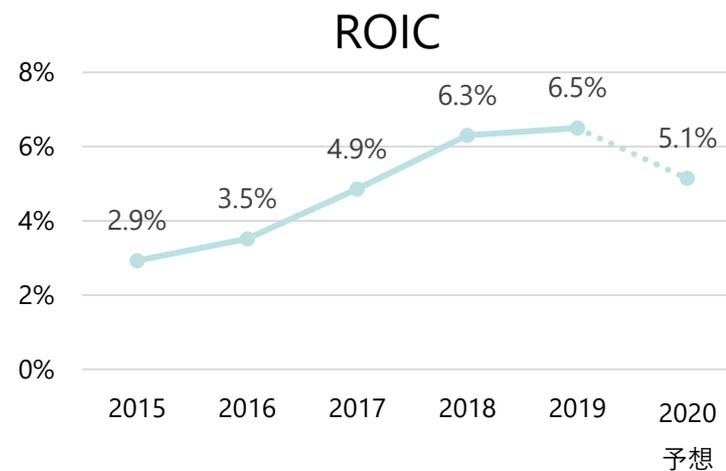
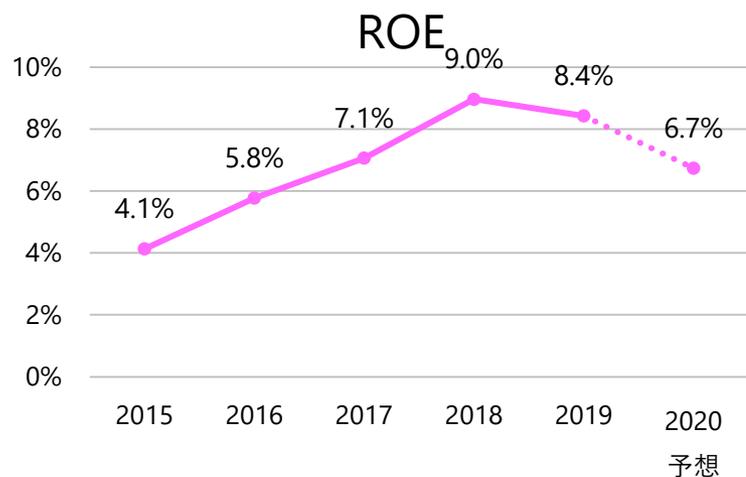
設備投資2020年度予想について

2018年度からのPPS能力増強に加え、研究部門の一部移転、デジタル化投資などが加わるため増加傾向の見込み。

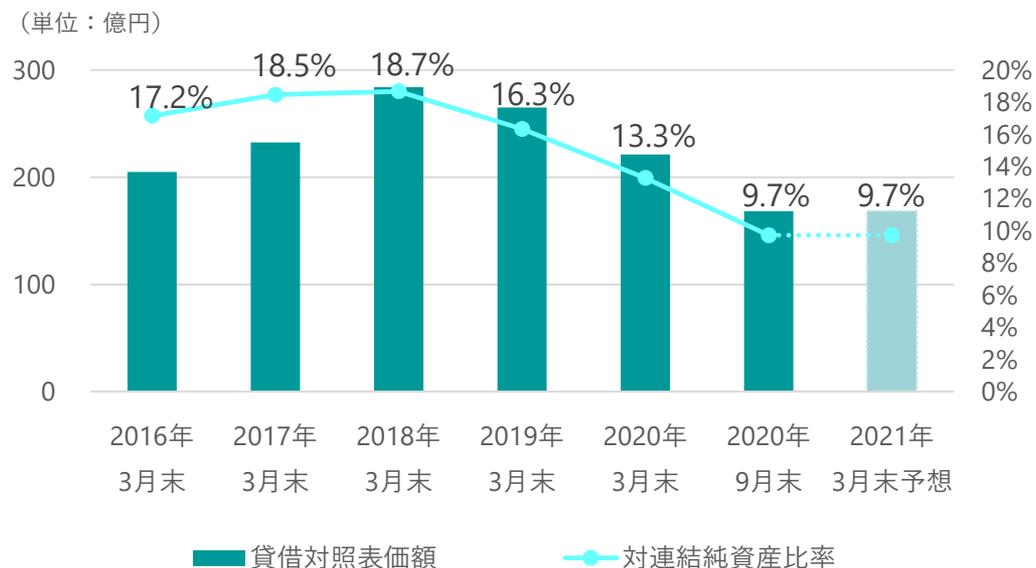
研究開発費



主要指標予想 (2)



政策保有株式／連結純資産比率



政策保有株式の段階的な圧縮により、政策保有株式の連結貸借対照表価額は連結純資産の10%未満に減少。

Ⅲ. 連結子会社の概要

連結対象会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

		20年3月期2Q		21年3月期2Q		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
(株)クレハ		323	1,969	295	1,923	-28	-45
(株)クレハトレーディング・グループ2社		88	123	85	122	-3	-1
機能製品	(株)クレハ	152	-	128	-	-24	-
	(株)クレハトレーディング・グループ2社	44	-	56	-	12	-
	クレハエクストロン(株)	16	55	14	43	-2	-12
	Kureha GmbH	11	9	8	10	-3	2
	Kureha America Inc.・グループ3社	19	279	12	252	-7	-27
	呉羽（上海）炭繊維材料有限公司	7	13	4	12	-3	-1
	呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	35	97	26	100	-9	3
	連結調整	-73	-	-61	-	11	-
計		211	-	186	-	-25	-
化学製品	(株)クレハ	96	-	90	-	-5	-
	(株)クレハトレーディング	36	-	33	-	-4	-
	連結調整	-15	-	-12	-	3	-
計		117	-	111	-	-6	-
樹脂製品	(株)クレハ	140	-	129	-	-11	-
	(株)クレハトレーディング	27	-	21	-	-6	-
	クレハ合繊(株)	23	50	23	52	0	2
	呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	1	-	1	-	0	-
	Kureha America Inc.・グループ3社	8	7	10	9	2	2
	Kureha Europe B.V.・グループ4社	42	72	35	70	-7	-2
	Kureha Vietnam Co.,Ltd.	16	31	15	29	-1	-3
	連結調整	-27	-	-23	-	4	-
計		229	-	211	-	-18	-

KUREHA

連結対象会社の概要 (2)

株式会社クレハ

(単位：億円)

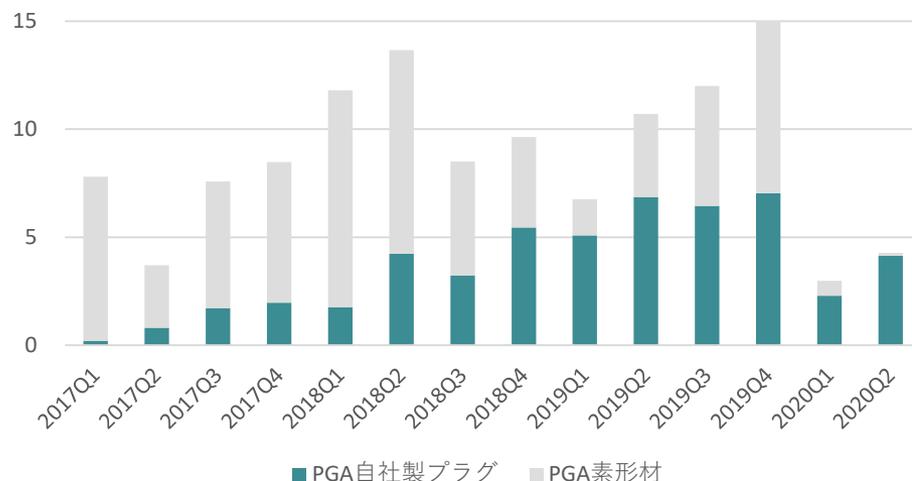
		20年3月期2Q		21年3月期2Q		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
建設関係	クレハ錦建設(株)・グループ4社	81	112	70	112	-11	-0
	(株)クレハエンジニアリング	15	19	23	23	8	4
	連結調整	-42	-	-35	-	7	-
	計	54	-	58	-	4	-
その他	(株)クレハ環境・グループ2社	52	226	62	268	10	41
	(株)クレハ分析センター	6	7	6	7	-0	0
	クレハ運輸(株)・グループ2社	41	54	37	55	-3	0
	(株)クレハトレーディング	0	-	0	-	-0	-
	クレハサービス(株)	3	12	4	17	1	5
	クレハスタッフサービス(株)	8	6	8	6	0	-0
	社団医療法人呉羽会	20	34	19	35	-1	1
	連結調整	-44	-	-42	-	2	-
計	85	-	95	-	10	-	
連結合計 (連結対象子会社+持分法適用会社数)		696 (30)		660 (30)		-35	-

KUREHA

IV. 添付資料

(単位：億円)

<PGA 四半期毎の売上収益>



<PGA 年度毎の売上・利益>



- 2020年度上期は、新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞とそれに伴う油価下落の影響により新規シェールオイル・ガス油井の掘削が減少するなど、市場環境は大きく変化した。足元では米国の経済活動の再開により、掘削・水圧破砕が再開しつつある。市場の回復に備え、生産・販売の準備を進めている。
- 今後は、PGA製フラックプラグをコア製品と位置づけつつ、多様化する顧客要求に応えるため、新商品の開発を進める。

<将来に向けた事業戦略>

現在のフラックプラグ主要素材

地中の温度	粉碎用ドリルの届く範囲	粉碎用ドリルの届かない範囲 (Toe)
高温～中温	非分解素材 + 粉碎用ドリル	分解性 (PGA)
中温～低温	非分解素材 + 粉碎用ドリル	分解性 (PGA・分解性金属)
低温～超低温	非分解素材 + 粉碎用ドリル	分解性 (分解性金属)



①販売戦略による拡販

既存PGA製フラックプラグの改良と柔軟な価格対応で、井戸全域での採用による数量増加を図る。

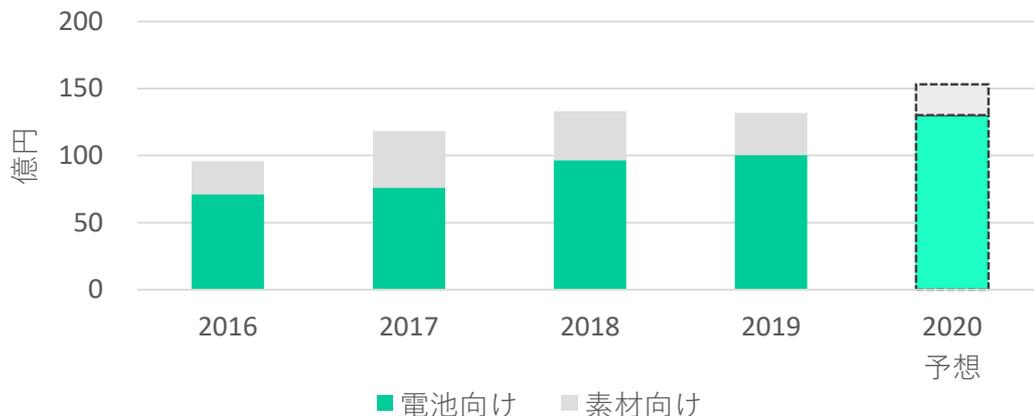
②技術戦略による拡販

まず、自社技術を盛り込み差別化した「非PGA分解性金属プラグ」をアイテムに追加し、低温～超低温地区への販売を開始する。追って「超低温に対応したPGA製フラックプラグ」を開発し、全温度帯でのPGA製フラックプラグ販売を実現する。

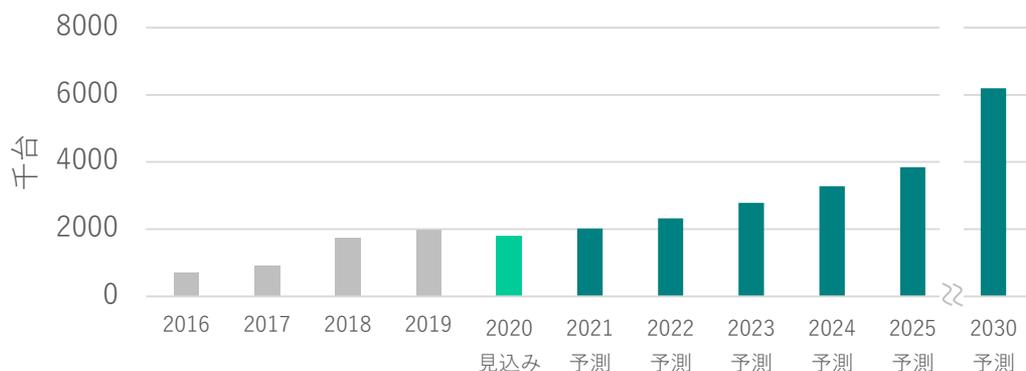
(当社推定2019年度フラックプラグ市場)

- ・北米フラックプラグ市場は60万本
- ・うち分解性6万本、PGA製は2万本

<PVDF売上収益の推移>



<EV生産台数推移予測>

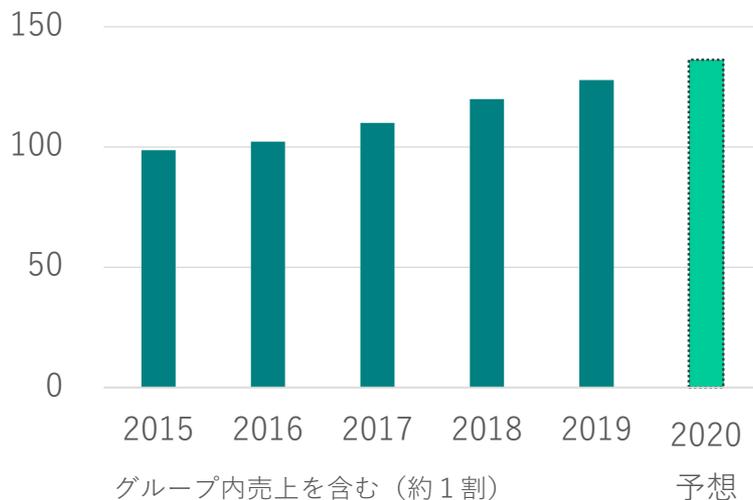


- 韓国・中国の大手LiBメーカー向けを中心に、車載LiB正極材用バインダー市場シェアは約40%で推移。
- 上期は新型コロナウイルスの影響により、主要顧客の多くが減産となったが、環境規制対応と各国の経済対策により、足元では急速に回復に向かっている。
- 中国常熟工場では、2020年5月より特殊ポリマーの生産・出荷がスタート。
- 新工場建設は、コロナ禍により検討が遅れているが、中国を念頭に2021年春に方針を決定し、2024年度には商業生産を開始する。

出所：(株)矢野経済研究所「xEV世界市場に関する調査(2020年)」2020年8月17日発表

<環境事業売上収益の推移>

(単位：億円)



- 低濃度PCB廃棄物、塩素、フッ素系のハロゲン化合物などの難処理物の処理に強みをもつ。
- 2019年度より、最終処分場を持つ「ひめゆり総業」を完全子会社化。

<主な事業内容>



廃棄物中間処理事業

福島県いわき市、神奈川県川崎市に中間処理施設（焼却炉）を持ち、廃棄物の適正処理を行っています。



廃棄物最終処分事業

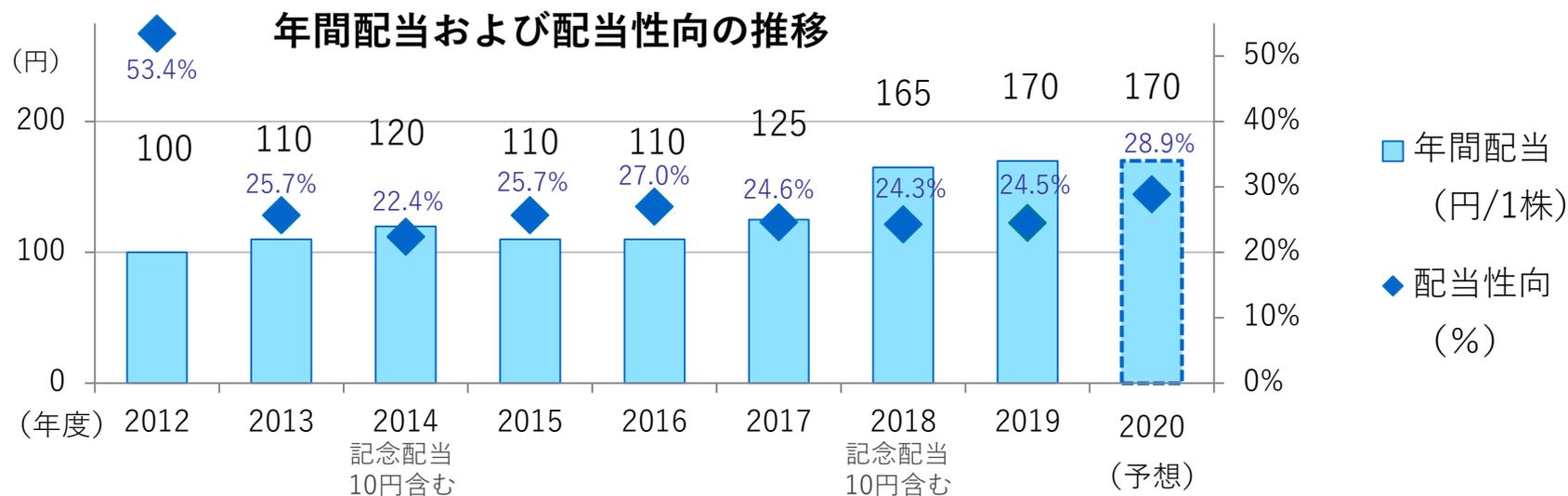
福島県いわき市において、産業廃棄物の最終処分を行っています。



環境エンジニアリング事業

水処理、排ガス中の溶剤回収に関する設備の販売・管理等を行っています。

- 利益の配分については、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備え、内部留保を充実すること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としています。
 - 柔軟な対応が可能な自己株式の取得も選択肢の一つとして検討していきます。
- ※コロナ禍による信用リスク増大や金融市場への影響を注視しており、現在は自己株式取得の計画はありません。



2016年10月1日付で普通株式を10株から1株に併合したため、それ以前のものには換算して表示しております。
2015年度までは日本会計基準、2016年度からはIFRSです。
2018年度に30億円、2019年度に50億円の自己株取得を行っています。

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。